第６回五郎丸東一丁目地区まちづくり勉強会　議事概要

1. 開催日時
令和８年 10 月 31 日（土）　10 時 00 分～10 時 45 分

2. 出席状況
地権者をはじめ 17 名

3. 内容（テーマ）
・ これまでのふりかえりと現在の検討状況
・ 事業化検討パートナーとは
・ パートナーに求める役割
・ どのようにパートナーを選ぶのか
・ 今後のスケジュール

4. 当日質疑等（要旨）
○　土地利用について

質問１	パートナーと業務代行業者の連携が難しいのではないか。業務代行者への移行を前提にパートナーを選定するほうが良いのではないか。
回答	パートナーの募集は、業務代行者となることを確約するものではありませんが、協議を踏まえて業務代行者に移行できるようなスキームにはしています。パートナーから希望があれば、そのまま業務代行者として継続できる形を想定しています。
意見１	計画図で、線路ぎわの道路が国道 41 号に出て行くような道路となっているが、商業地であれば今ある交差点の信号がなくなると、エリアへの動線がやや弱いのではないかと思う。
回答	道路配置は、今の信号を残して道路を配置すると、街区が分断されて柔軟な土地利用ができなくなるため、できるだけ大きな街区を作りたいという意図で配置しています。ただし、道路配置は決まったものではないので、道路管理者や事業者の意見も踏まえて検討していきます。
意見２	将来的に駅が欲しいという地元の要望があるので、できるかどうかは分からないが、将来駅設置を見据えて、その用地は市が持っておくなど、余地を作っておいてほしい。
回答	五郎丸駅設置の件は非常に大事な視点です。将来的なまちづくりを見据えて検討を進めていきたいと考えています。 なお、本地区のまちづくりだけでは、駅設置が難しいことはご理解いただきたいと思います。計画図では、主要道路の西側にホームや駅前空間など駅設置に必要な用地として、広場などとして市で管理していく想定をしています。全体の土地利用と合わせて検討していきたいと考えています。

＜次頁へ＞

意見３	地権者のリスクを考えると、業務代行は必須だと思う。初めから業務代行者を前提にパートナー選定をしてほしい。
回答	基本的には、パートナーから業務代行者に移行してほしいと思いはありますので、将来的な業務代行者を前提とした募集を行う予定です。

＜以上＞